

2016 年度秋学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	看護学科	科 目
-----------	------	-----

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

アンケート結果について

看護学部看護学科の対象科目は 科目 28 クラスであり、27 クラスで実施され、回答率は 90.5%（2015 年：94.1%）であった。

評定平均値については、項目別では全学平均と同様の傾向を示した。科目別では、複数教員が担当する演習を中心とした科目においては、評定平均値が高い傾向にあった。

DWCLA10 では、「思考力」、「分析力」の選択率が全学選択率よりも高く、演習を中心とした科目では、「コミュニケーション力」「思いやる力」の選択率も高かった。一方、「創造力」「プレゼンテーション力」「リーダーシップ力」「自己実現力」は低かった。

時間外学習時間（時間加算期待値 h/w）は、平均 0.58（2015 年：0.69）であり、全学平均 0.70 より少なかったが、事前事後学習の課題が多い科目は、必然的に時間外学習時間も多かった。

今後の改善について

次年度も教員と学生が授業アンケートの意義を理解し、授業アンケートを実施できるようにする。また、各科目で涵養できる DWCLA10 について検討していくと共に、「創造力」「プレゼンテーション力」「自己実現力」「リーダーシップ力」の育成については、学年の進行による選択率の変化を確認すると共に、授業方法等の工夫や教育活動全般としてとらえることも必要と考える。

各科目の授業担当者においては、集計結果を十分に分析し、さらに授業の工夫に心がけること、時間外学習時間についても、学年の進行による変化を確認すると共に、授業支援システム「マナビー」の活用によって効率の良い予習・復習につながる工夫も必要と思われる。

学科としては、引き続き教員の FD 研鑽のための環境整備に務めていきたい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育開発支援センター